

新型コロナウイルスに関するジョンソン英国首相の記者会見（3月16日）

在英國日本国大使館 <uk@mailmz.emb-japan.go.jp>
返信先: 在英國日本国大使館 <goikenbako@id.mofa.go.jp>

2020年3月17日 18:50

3月16日、ジョンソン英国首相は、新型コロナウイルスに関して新たに記者会見を行いました。本会見の内容は、現在英国に在住されている方及び英国を旅行されている方、並びに、これから英国に渡航される予定の方におかれましてもご承知いただくべきものですので、お伝えいたします。

3月16日、ジョンソン英国首相は、新型コロナウイルスに関して記者会見を行い、以下のとおり国民の理解と協力、支援、忍耐を求めました。なお、同首相は、数日のうちに更なる措置の可能性についても言及しておりますので、在留邦人の皆さま及びたびレジ登録者の皆さまにおかれましては、テレビやインターネットなどの報道にも注意を払い、情報収集されることをお勧めします。

また、翻訳文は当館が便宜的に行ったものであり、番号も便宜的に付したものですので、正確な内容は次の原文をご参照ください。

<https://www.gov.uk/government/speeches/pm-statement-on-coronavirus-16-march-2020>

1. 先週に述べたとおり、政府の目的は、適時適切な対策により感染症の流行のピークを遅らせ平準化することであり、それにより被害を最小化し命を救うことにある。政府の対策はすべて最善の科学的アドバイスに入念に基づいている。

2. 先週、2つの主要な症状、すなわち高熱または新規の継続的な咳のいずれかがある場合には自宅に待機することをお願いした。本日、緊急事態のための科学顧問団（SAGE）によれば上昇力一軒が急成長する部分に差し掛かっているため、さらに対策を進める必要がある。もし抜本的な対策を講じなければ、5日から6日ごとに件数が倍増する可能性がある。

3. したがって、第一に、自身を含む家族の誰かがこれら2つの症状のいずれかを有している場合は、14日間の自宅待機をお願いする。これは、可能なら食事や生活必需品を買うための外出は控え、運動目的の外出であっても他人と一定の安全な距離を保つことを意味する。必要に応じて、日々の必需品については他人の助けを求め、不可能であれば、買い物のために外出する際はできるだけ他人との接触を制限すべきである。

4. 症状がなくても、また家族に症状がなくても、今行ってもらわなければならないことがある。

5. その点で、第二に、今や皆が他人との必要のない接触をやめ、あらゆる不要の移動を停止するときである。できるところから在宅勤務を開始する必要がある。また、パブやクラブ、劇場その他の社交場は避けるべきである。

6. 言うまでもなく、国民保健サービス（NHS）は、真に必要なときのみに利用すべきである。NHSの専用ダイヤル111に電話するのではなく、オンラインを利用いただきたい。（当館注：<https://111.nhs.uk/service/COVID-19/>）

7. あらゆる不要の社会的接觸を避けるというこの勧告は、特に70歳以上の者、妊娠中の女性及び何らかの健康上の問題を抱える者にとって重要である。

8. 今なぜこれをするのか、なぜ早くもなく遅くもなく今なのか、なぜこんなに厳格な措置を導入するのかといった質問への回答であるが、我々は人々に難しいこと、生活の混乱を伴うことをするよう頼んでいる。これまで言ってきたように、正しい瞬間というのは、それが最も効果的で、感染拡大を遅らせ、犠牲者の数、死亡者の数を減らすのに最大の違いをもたらせると考える

時にそれを行うことである。

9. このような段階を踏む際に、我々は最も脆弱な人々に焦点を当てるべきである。

10. そういう訳で第三に、今後数日内のうち、つまり今週末までに、さらに踏み込んだ措置をとり、最も深刻な健康状態にある人々を主として、社会的接触から確実に約12週間遮蔽するようにする必要が出てくる。

11. 改めて、こうしたことを今後数日間のうちに、それより早くも遅くもなく、行う理由というのは、これがそのような健康状態を持つ人々にとって、大きな混乱となり困難を伴うものだが、自分の信じるに今それが必要だからである。

12. そして、この遮蔽期間、つまり最大限の防護の期間が、感染のピークと重なるようにしたい。

13. そして現在、そのピークが国の一地域において他より早く来つつあることが明らかである。そしてロンドンが数週間先行しているようである。

14. そのため、ロンドンの保健システムの負担を減らし、ロンドンでの拡大を遅らせるため、ロンドン市民は、不要不急の接触を避けるようにという政府の発表に特別な注意を払い、自宅勤務をし、パブやレストランといった狭い空間を避けるようにという政府の推奨を特に真剣に受け止めることが重要である。

15. 最後に、過去数週間言ってきたとおり、スポーツイベントのような大規模集会での病気の伝染リスクは比較的低い。

16. しかし明らかに、論理的に考えて、我々があらゆる不要な社会的接触をしないよう推奨するにあたり、この推奨を大規模集会にも拡大するべきというのが正しい。

17. そして、この緊急事態に対処するために、こうした大規模集会に動員されるかもしれない重要な労働力を、我々は確保しておかなければならぬ。

18. そのため明日以降、通常であれば救急隊員を動員していたような大規模集会を我々はもはや支持しない。大規模集会から、我々は断固として離れていく。

19. 何百万人もの70歳以上の健康で活動的な人々が、今自分が言ったことを聞いて、こうした措置の中にはやり過ぎだと感じる人がいるかもしれないことを知っている。

20. しかし、言っておかなければいけない。こうした措置は、感染拡大を遅らせ、ピークを減らし、命を救い、被害を最小にし、NHSに対処するチャンスを与るために、圧倒的な実施価値がある。

21. ここ数日間、自分は世界中の指導者と意見交換をした。その結果、友好国、同盟国、あるいはG7、G20、国連、IMFなど英国が重要な役割を果たしているあらゆる機関においても、英國は拡大する世界規模の取組を率いる立場にあると言える。英國はこの感染症と闘う取組を率いている。

22. 経済の成長を保ち、人々が必要な薬や治療を享受できるようにすべく、ビジネスを支え、経済を支え、確実にこの事態を克服するための努力の前線に英國も立っている。

23. 本日、全ての人に多大なことを頼んでいることを分かっている。手を洗うことは明らかに重要なままであるものの、もはや手を洗うということをはるかに超えている。

24. しかし、自分は、國中で人々や企業が驚くべきエネルギーと想像力で現在我々が直面して

いる難題に対応していることを国民に知らせることができる。一人一人が果たしている、そしてこれから果たす役割に感謝したい。

(以上)

このメールは、在留届にて届け出のあったメールアドレス及びたびレジ登録者宛てに配信しています。既に英国にお住まいではなく、在留届を出されたままになっている方は、本メールに返信の形で結構ですので、全員のお名前と出国日をお知らせください。

在英國日本国大使館 領事班

電話：020-7465-6565（休館日を除く月～金の 09:30～18:00）